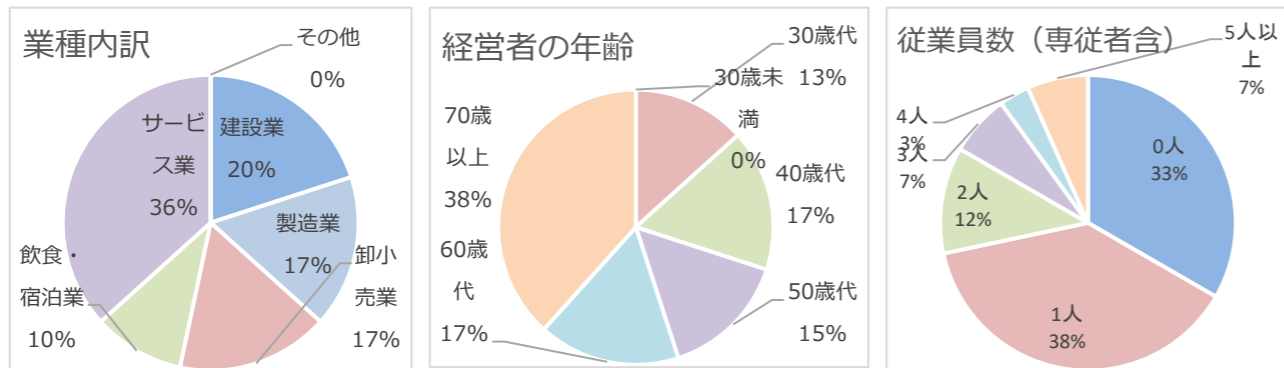


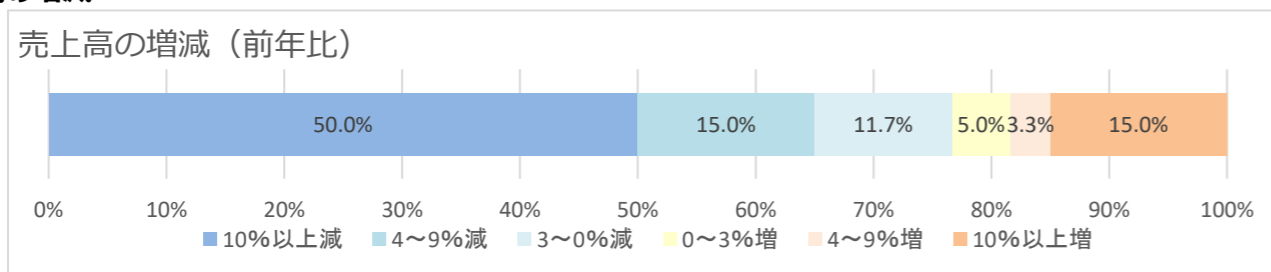
藤岡町商工会管内 景気動向調査報告書【2021年】

■ 回答者の属性



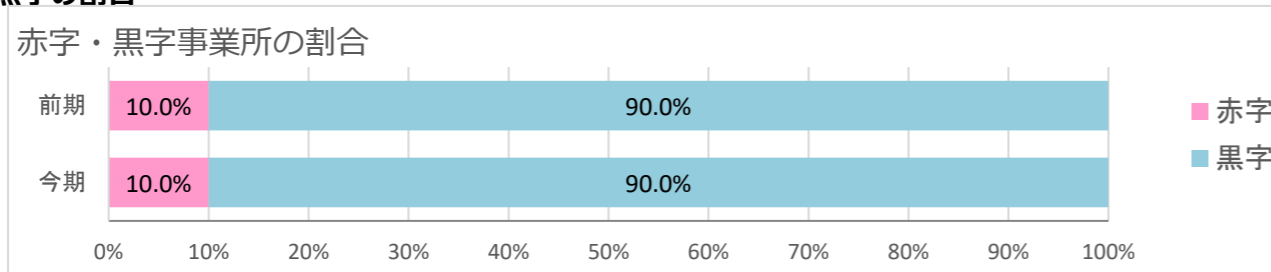
2022年1月～3月にかけて税務申告支援を行った60事業所（建設業12、製造業10、卸小売業10、飲食・宿泊業6、サービス業22）に対し調査を行った。

■ 売上高の増減



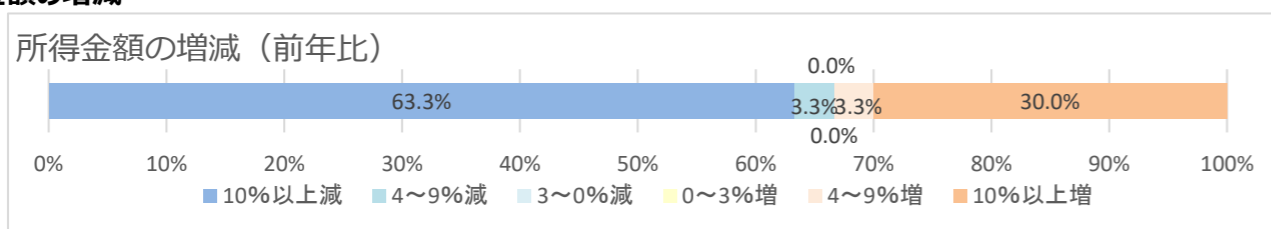
昨年に比べ売上が減少した事業所が46に対し、増加が14と半数以上の76.7%の事業所が減少した。10%以上増加した事業所は15%あった。

■ 赤字・黒字の割合



前期は黒字事業所が大部分を占め（90%）ていたものの、今期は前期同様54事業所が黒字決算（90%）となった。

■ 所得金額の増減



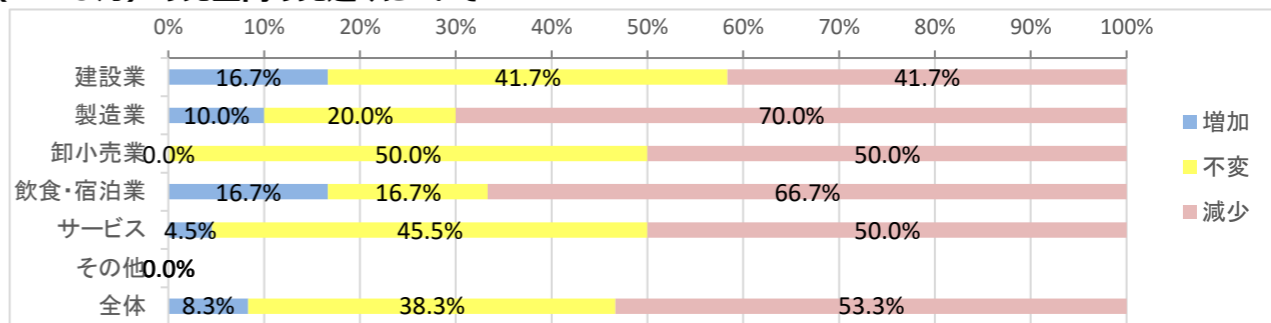
売上金額が減少した事業所は50%超だったものの、所得金額が増加した事業所は60%を超える。利益率を保つ取組が功を奏したといえる。

■ 最近の経営上の問題点

第1位	売上減少	32
第2位	需要の停滞	29
第3位	大型店との競争の激化	15

『売上減少』が最近の経営上の問題として第1位に挙げられており、これは全業種においても上位に挙げられ、外的要因が経営を圧迫していることが窺える。

■ 今後（4～8月）の売上高の見込みについて



今後（4～8月）の売上高については、全体の53.3%が不変・減少を見込んでいて、8.3%が増加を見込んでいる。業種別にみると、製造業の70%、飲食・宿泊業の66.7%が売上減少と回答しており、需要喚起が喫緊の課題である。

■ 今後の経営課題について

第1位	販路開拓	39
第2位	商品サービスの充実	13
第3位	接客(営業)力の向上	11

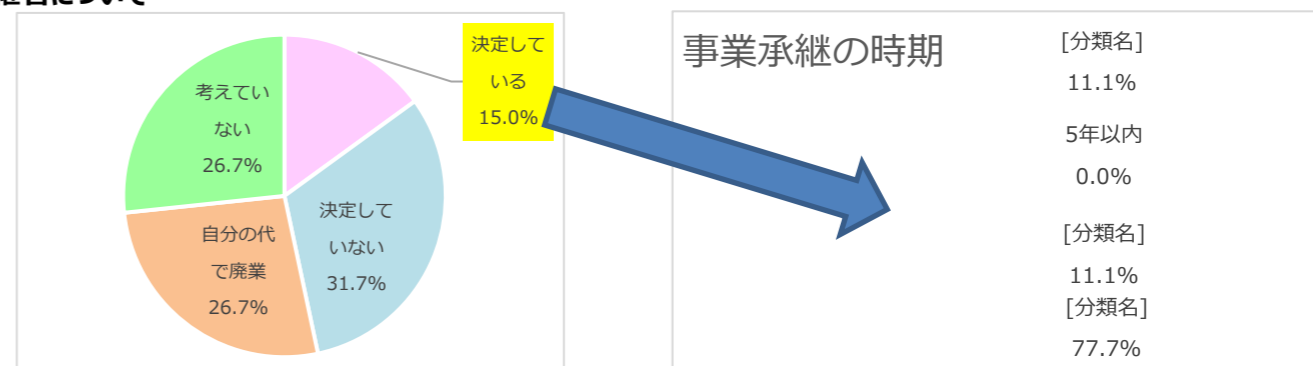
『販路開拓』が今後の経営課題として第1位に挙げられており、特に建設業、サービス業で多くの事業者の課題となっている。

■ 経営課題解決に向けた支援策について

第1位	補助金・助成金の申請	40
第2位	事業承継支援	17
第3位	販路開拓支援	13

今後の経営課題の解決に向けた商工会の支援策では『補助金・助成金の申請』が第1位となっており、第3位の『販路開拓』と絡めた支援を展開していく必要がある。また、第2位の『事業承継支援』は今後更に必要となってくる。

■ 後継者について



後継者について調査対象60者のうち、決定している事業者は9社（15%）しかおらず、今後、事業承継について積極的に推進していく必要がある。また後継者が決定しているものの承継時期が未定の事業所が77.7%を占めており、事業承継計画の策定が急務である。